



シアターXが提携公演

# 豊島重之+毛江ユウジ『シアター nino-mai』公演

2014(平成26)年 2月15日(土)・2月16日(日)二回公演



# 豊島重之 + モレキュラーシアター

## 『nino-mai へのまい』公演



2014 (平成 26) 年 2 月 15 日 (土) ロビー開場 18 時 30 分 / 開演 19 時 ~ (ソワレ)  
2 月 16 日 (日) ロビー開場 13 時 30 分 / 開演 14 時 ~ (マチネ)

劇 場 : 東京・両国シアターXカイト 〒130-0026 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア  
入場料 : 各日均一 (トーク聴講込み) 2,000 円 (学生優待・要事前予約)

<予約・問合せ> 東京・両国シアターXカイト TEL 03-5624-1181 FAX 03-5624-1166  
モレキュラーシアター TEL 090-2998-0224 <molecular-theatre.jp>  
〒031-0022 八戸市古常泉下 14-18

四枚の写真からもがきだす 余熱さめやらぬ灰の出航 (一場)  
散り散りの灰でできた無声のプライマー = 雷管 (二場)  
脆くも壊れやすい白昼のリュシオールたち (三場)  
林立する蚊柱の気違いじみたアルス・ノトーリア (四場)

作・演出・美術・構成 : 豊島重之 Directed & scenographed by Toshima shigeyuki  
Voice 出演 : 大久保一恵・高沢利栄  
出演 : 中野真李・田島千征 Performed by Nakano mari & Tashima chiyuki  
断章引用 : 豊島重之『種差の世紀』  
ジョルジュ・ディティエ = コベルマン (橋本一徑訳) 『イメージ、それでもなお』ほか  
音楽 : 根本忍 照明 : 間垣隆 舞台 : 荒谷勝彦  
映像記録 : 宮内昌慶 光面操作 : 豊島章伍 制作 : 戸田昌征 ほか



中野真李  
出演歴 : 『人称と所在 bis』 『へのいち』 『カフカス』 など。solo 作品に 2012 年『雪暮れて十日夜 (とおかんなや)』 2013 年『夜爪 (よづめ)』 ほか。

田島千征  
出演歴 : 『のりしろ』 『マウスト』 『Ohio』 『カフカス』 など。中野真李との duo 作品に 2013 年『Kapiw (カピウ)』 ほか。

### 北島敬三 (写真) 豊島重之 (文) 共著『種差 四十四連図』刊行記念 + アフタートーク《二の舞い〜揮発者たちの世紀へ》

講師 : 鶴飼哲 Ukai satoshi (一橋大学教授・フランス文学思想)  
2 月 15 日 (土) 20 時 ~ 21 時 10 分 / 聴き手 : 豊島重之

### アフタートーク《二の舞い〜異貌のアルス・ノトーリア》

講師 : 八角聡仁 Yasumi akihito (近畿大学教授・舞台芸術批評)  
2 月 16 日 (日) 15 時 ~ 16 時 10 分 / 聴き手 : 豊島重之



鶴飼哲



八角聡仁

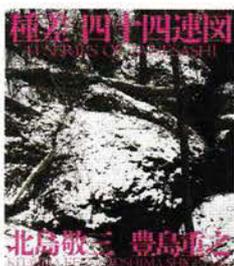


豊島重之  
(左から 3 人目 / 倉石信乃・北島敬三・橋本一徑と)

### モレキュラーシアター歴 (近年の活動を主に)

- 2005 年 『Beckett Immanence』 企画主催公演 (国際交流基金フォーラム)
- 2006 年 世田谷パブリックシアター主催 『Ohio・Catastrophe』 招待公演 (シアタートラム)
- 2007 年 青森県美 『Ballet Biomechanica』 招待公演 / 沖縄県美 『Decoy』 開館公演
- 2008 年 『Illumiole Illuciole イリュミオール・イリュシオール』 月島公演
- 2009 年 『mouthed マウスト』 御茶ノ水 canvas 公演
- 2010 年 早大演劇博物館 『Ballet Biomechanica』 招待公演 (戸山 36 号館)
- 2011 年 『nori-shiro のりしろ』 提携公演 (座・高円寺 1)
- 2011 年 豊島和子追悼公演 『ギンリョウのたびだち』 (八戸市公会堂)
- 2012 年 『nino-ichi へのいち』 招待公演 (八戸市南郷文化ホール)
- 2013 年 青森県立美術館 『Kavkaz カフカス』 招待公演 (県美シアター)

### ICANOF 2013 年新刊『種差 四十四連図』御案内 :



三陸被災と再生の特異点「種差海岸」をどう捉えられるのか。写真家・北島敬三の写真と、演出家・豊島重之の筆致が、それぞれ全く違った仕方で種差素描に挑んだ 写真集 + 論考の二冊組み共著、いやむしろ「単独性のディブティック」。

- [書評 1] 矢野静明 (画家) 《なぜ事物はそこに在るのかという問いが立ち現われ突き刺さる》—図書新聞 2013・11・16 号掲載
- [書評 2] 倉石信乃 (明治大学教授・写真史専攻) 《テキストとイメージの目覚ましい高次の提携》—週刊読書人 2013・11・29 号掲載
- [トークショウ 1] 恵比寿・NADiff a/p/a/r/t にて 2013・11・10 トーク&上映会 《みえなくされること / みえなくなる》  
講師 : 橋本一徑 (早稲田大学准教授)・倉石信乃 (明治大学教授)・北島敬三 (写真家)・豊島重之 (演出家)
- [トークショウ 2] 神田・東京堂書店にて 2014・1・18 トーク&上映会 《抽象機械状の JOY を発する種差岩礁空間をめぐる》  
講師 : 橋本一徑 (表象文化論)・倉石信乃 (写真史)・北島敬三 (写真家)・豊島重之 (演出家)

A4 判変型・上製二冊組・函入・6400 円 + 税・ISBN : 978-4-903301-06-8 C0072 / ご注文は全国の書店、または ICANOF サイト <http://icanof.parallel.jp> まで。

